

平成18年12月20日  
水産庁  
独立行政法人水産総合研究センター

シンポジウム  
『ウニを獲って藻場を回復しよう』の開催について

【要旨】

国内各地で問題になっている、海藻の消失、いわゆる「磯焼け」は、海藻と海藻を食べるウニとのバランスの崩壊が大きな要因の一つと考えられ、ウニの除去が効果的と言われていいます。しかしながら、ウニ除去対策の多くは研究段階に留まっており、広大な浅海漁場においてウニ除去計画を立てるために必要な目標ウニ密度、作業効率（手法、労力、経費）、除去後のウニの取扱や海底のメンテナンスに関する知見は依然として乏しい状況にあります。更に、近年の漁村における人口減少や高齢化に伴う担い手不足も適切な漁場管理に大きな影響を与えています。

そこで、独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所が主催して、ウニの摂食圧をいかに効率的に抑えて藻場を回復していくかをテーマに、シンポジウムを開催致します。

効率的なウニの密度管理や見入り改善の方法などについて、研究機関、行政、企業並びに漁業関係など幅広い分野からの講演を準備しております。ふるってご参加下さい。

記

1. 日時 平成19年1月12日（金） 10:00～17:00
2. 場所 国立大学法人 東京海洋大学 「楽水会館」  
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7  
TEL:03-5463-0400（代）
3. 申込み等 12月28日（木）までに、①所属団体名、②氏名、③シンポジウム後の交流会参加・不参加を記入し、水産工学研究所 桑原までメールまたはFAXでお知らせ下さい

本件照会先：

水産庁

漁港漁場整備部 整備課

阿部、梅津

TEL:03-3591-5614

水産庁ホームページ掲載先URL

<http://www.jfa.maff.go.jp/gyokogyojo/index.htm>

独立行政法人 水産総合研究センター

水産工学研究所 水産土木工学部 環境分析研究室長

桑原 久実

TEL:0479-44-5935

FAX:0479-44-1875

水産総合研究センターホームページ掲載先URL

<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr18/index.html>

# ウニを獲って藻場を回復しよう

## 趣旨

国内各地で問題になっている「磯焼け」の要因の一つに、海藻とウニのバランス崩壊が挙げられる。この現象は、19世紀末から知られ、1960年代以降、国内外でウニ除去による海藻群落形成の例が数多く報告されてきたが、研究段階に留まり、事業レベルで本格的に藻場を回復・維持させるまでには至っていない。ウニを除去すれば海藻が生えることはわかっているが、広大な浅海漁場で除去計画を立てるために必要な目標ウニ密度や作業効率（手法・労力・経費）に関する知見が乏しく、除去後のウニの取り扱いや海底のメンテナンス、さらには漁村人口の減少や高齢化による担い手不足も障害となっている。緊急磯焼け対策モデル事業（水産庁）では、ウニ除去の普及・実践に必要な知見を増やすとともに、一般市民参加や機械除去による新たな試みも検討してきた。ウニへの給餌と称して闇雲に投石やブロック投入を繰り返す時代は終わり、ウニ除去推進のための体制作りや新たな沿岸の秩序づくり、ウニ資源の有効活用などが求められている。

## プログラム

1. 基調講演 ウニ除去で漁村を活性化 藤田大介

### 「ウニ除去の実際と課題」

- 司会 桑原久実  
 2. 国内のウニ食害対策を振り返る 綿貫 啓  
 3. ウニ除去の効果と問題点 ～青森編～ 桐原慎二  
 4. ウニ除去の効果と問題点 ～高知編～ 田井野清也  
 5. ウニ除去の効率を考える 青田 徹  
 6. ウニ除去計画のためのウニ侵入量の予測 川俣 茂

### 「ウニ除去の新たな試み」

- 司会 岩橋好敏  
 7. ダイビングショップからみた市民参加型ウニ除去 大塚英治  
 8. 漁師と学生の藻場回復活動（学習実習によるウニ除去） 田中敏博  
 9. 企業の社会貢献事業からみたウニ除去 大村浩之  
 10. 市民参加型ウニ除去の留意点 田中克哲  
 11. 機械や装置による除去は可能か 桑原久実

### 「獲ったウニをどうする」

- 司会 町口裕二  
 12. 深浅移植とその問題 川井唯史  
 13. 北海道瀬棚地区におけるキタムラサキウニの籠養殖 伊勢諭至  
 14. 岩手県洋野町におけるウニ資源管理の事例 藤原孝行  
 15. グリーンタイトのアオサもウニの餌 大迫一史  
 16. ウニはうまいし、殻も資源 乾 政秀

### 「総合討論」

- 座長 桑原久実・町口裕二・藤田大介  
 一歩前へ ～漁業者、市民、企業、行政は何ができるか～

**開催場所：国立大学法人 東京海洋大学 「楽水会館」**

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 TEL.03-5463-0400(代) <http://www.kaiyodai.ac.jp>

**開催日時：2007年1月12日（金）10:00～17:00（参加費無料）**

主催：（独）水産総合研究センター水産工学研究所

共催：水産庁・（社）全国豊かな海づくり推進協会・東京海洋大学

参加方法：12月28日（木）までに、①所属団体名、②氏名、③シンポジウム後の交流会（3,000円）の参加・不参加を記入し、水産工学研究所 桑原までメールまたはFAXでお知らせ下さい。

問い合わせ先：桑原久実 （独）水産総合研究センター水産工学研究所

TEL.0479-44-5935 FAX.0479-44-1875 E-mail:kwhr@fra.affrc.go.jp